



山名一族会報

全国山名氏一族会
〒667-1311 兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡2365 法雲寺内
電話 0796-198-1115
FAX 0796-198-1116

第22回総会並びに山名会歴史講演会開催

去る11月28日、「第22回山名会総会」並びに「山名会歴史講演会」を京都市（池坊短大・こころホール）にて開催致しました。当日は一般参加を呼びかけた聴講者含めて一二〇名以上の方々にご参加頂き、賑やかに行事が行えました。今後の山名会の活動に良い影響を与えて貰えるものと、大いに期待しているところです。

会員数54名に

山名会も平成24年の活動再開から、早3年が過ぎ、会員数も当初の20数名からこの11月には54名まで回復して60名台も目前です。是もひとえに勧誘にご尽力頂きました方々のご協力によるものと感謝申し上げます。

この数年が正念場？

山名会に関わらずですが、一般的に同志の会というものは、会を立ち上げて2〜3年は会に関する関心も高く、活動にも皆さん積極性があり、会全体に「勢い」が感じられますが、これが5年経ち、6年も経つてくると、活動内容は定例化・出席



草山常任理事寄贈の山名会幟講演会場が地階であった為、幟を誘導看板代わりに活用させて頂きました。

者固定化が進み、新鮮さも次第に薄れて、会の「勢い」も落ち着いたものとなり「中だるみ」とでも言うような状態に陥って仕舞い易いようです。

このような状況下で、「仕方

ない…」と流れに身を任ずると、更なる発展を思い、もう一頑張りするのは、その後の会の行く末が変わってくることは何方でも想像し易いところかと思えます。（初期の山名会・東京事務局移転後の山名会でも経験した如くです。）

現・山名会も活動再開から5年目に差し掛かったこれから、「中だるみ」が心配となってくる頃です。その意味では今後数年間が、山名会にとって一つの正念場で有るのかも知れませんが、この数年を乗り越えた先には安定的な会運営が実現出来るのではと考えています。

会の安定運営とは何を以て安定と言うのかは良く分かりませんが、少なくとも会員数は現状からもう一段階の飛躍は必須の事項かと思えます。

山名氏（会）の存在を世に問う

さて、この度の山名会行事である総会・歴史講演会ですが、会員増と活性化の為に、先ずは山名会の存在を世の人々に

広く知って頂くことが第一となります。今回の行事はそこ（山名会の周知）に主眼を置いて計画させて頂きました。その為に、通常の恒例行事（史跡散策や温泉等）は略させて頂き、会員の皆様には少し味気ない内容となりました事はご容赦下さい。一般の方々に参加しやすく時間・経費面を考慮しての策とご理解下さい。

歴史講演会

当日は定刻の13時より開会のセレモニーを開始し、冒頭、山名年浩会長より、

「過去20数回山名氏所縁の地、各地で会員対象の総会行事を継続してきた」と山名会の紹介が有り、



200名収容のホールに総計120名超の方がご聴講下さいました。



寂しくも無く、狭苦しくも無く、結果的に丁度良い人数か？

「この度は室町文化に深い繋がりがあある山名氏の側面を広く知って貰う意味で一般の方々を含めた歴史講演会開催した」旨の挨拶をいただき、続いて会場をご提供頂いた池坊短大・松井学長の歓迎のご挨拶、それに引き続き副総裁より

「今回の行事を通して、山名会なりの『応仁の乱後四七〇年の総括』が出来ることを期待」される挨拶も頂戴しました。

歴史講演は第1講の「室町文化の歴史的意義」（池坊短大・松本公一教授）と第2講の「京応仁の乱の前と後」（企画事務所 Room to Grow 山本義典代表）と二題の講演をお願いしました。



池坊短大・松本公一教授（左） Room to Grow・山本義典代表（右）

第1講の「室町文化の歴史的意義」では、山名氏が活躍した室町時代全般に掛かる内容のお話をいただきました。

室町時代と言うと、江戸時代や戦国・鎌倉時代に比べて印象が薄い観がありますが、書院造り等の建築様式や、禅を中心とした思想の普及等、生活様式・精神文化面で現代に続く和式文化の基礎が確立されたのがこの時代と見ることが出来ると、お教え下さいました。

続く第2講の「京 応仁の乱の前と後」では、「京都で先の戦争と言ったら『応仁の乱』のこと」、「祇園祭が出来なかったのは『応仁の乱』の時だけ」



歴史討論で室町文化と山名氏の関係を掘り下げる。

と、とかくマイナス面ばかりが強調されてきた応仁の乱に、別角度からの光を当てていただき、応仁の乱を契機に発展を果たした京都の町や文化について語っていただきました。

歴 史 討 論

講師先生お二方の御講演の流れを受けての歴史討論では、山名年浩会長がマイクコントロールをされ、会長がテーマを問いかけて講師の方交えて意見を交換したり、聴講者からの質問を受けて、解説を加えたりと予定時間いっぱいまで話題が広がりました。

六 齋 念 仏 公 演

終盤には山名所縁の西陣の千本六齋会による、郷土芸能・京



千本六齋会による六齋念仏公演「獅子と蜘蛛の精」(写真は別会場での公演を掲載)

都の六齋念仏のご披露をお願いして居りました。本来はお盆の精霊供養の芸能ですが、ご無理を言って冬場のこの時期にご出演願いました。

軽快で賑やかなお囃子に合わせて、獅子がリズムカルにアクロバティックに舞います。三時間近い講演の後だけに普段に増して躍動的に見えるのかも知れません。獅子が舞台の中央で積み上げられた台の上で逆立ちする瞬間は思わず、会場中が手に汗を握りました。

尚、各講演や六齋念仏ともに現在記録したビデオを編集中です。整理が出来ました際には、動画サイトに掲載し多くの皆様

にご覧頂けるよう準備中ですが、それまで今しばらくお待ち下さい。

山名会 年次総会

六斎念仏講演後は山名靖英理事長より「一般の方々含め山名会にご興味の方は是非ご入会を」とお願いし池坊短大での行事を終えました。

その後、会場近隣の居酒屋に場所を移し、ゆっくりと審議は出来ませんでした。年次総会を行った次第です。

(総会報告は頁を分けます)

歴史講演会を終えて

今回の行事参加者は一般募集の方を含めて一二〇名を上回る



年次総会后、講師方を囲んでの懇親会。会場が手狭でした。(反省)

人数となりました。

この人数は勿論、役員・会員諸氏の働きかけによるものです。山名会としても十分に自信を持てる人数で行事が出来たことを喜んでおります。

また、最後になりますが、ご参加頂きました会員諸氏には一日行事の為だけに各地遠方よりご都合を付けてご参加頂きましたこと、役員一同、こころよりお礼申し上げます。

役員・事務局共々、今後も更なる山名会の発展を願い、山名氏八〇〇年の伝統と一族の誇りを核として、山名会の発展方向を模索して参ります。

時的に的外れな事も有ろうかと思いますが、この数年間を「中だるみ」無く乗り越え、徐々にでも体力を蓄え山名会発展の道を歩めることを願って居ます。

今回の歴史講演会準備を通して、山名氏と縁が深い方々(山名姓・実家が山名等)の洗い出しもだいぶ出来ました。今後はそんな方々へのお誘いを考えて行かねばなりません。ご協力よろしくお願い致します。

第22回年次総会報告

歴史講演会后に場所を移して第22回の年次総会を実施致しました。事前の調査が十分ではなかつたことをお詫び申し上げます。

前記のような状況でしたので、総会では主にH26年度事業報告・決算報告をご説明して、新年度の事業につきまして、基本的に理事会・役員会などで内容を検討してご案内させて頂いた方向でご承認をいただきました。

H 26 年度事業報告

11/29〜30・第21山名会総会

六孫王神社・壺井八幡宮・多田神社等参拝見学。『近世京都の地図にみる歴史の流れ』(山名年浩会長) 歴史講演27名参加。

「山名6号」及び「近世京都地図」発行

1/12・三王氏ヴァイオリン御寄贈

三王相談役が永年愛用されたヴァイオリン(ストライバリ)を山名蔵に御寄贈。

4/19・専念寺晋山

山名義範前理事長のご自坊・専念寺の住職後継式。山名会より4名参加。

6/27・役員会開催

京都市、総会行事内容につき協議。

8月3日・総会打合せ

第22回総会行事につき、会場下見打合せ。(池坊短大)

8月下旬・萬灯会

多田神社の萬灯会に協賛。2基1万円

9/10・清和源氏手拭完成

清和源氏諸流略系図を元にした手拭いが完成。200枚作成。

10/15・パンフレット完成

山名会広報用。パンフレット作成。初回1000部作成

11/28・歴史講演会・総会

山名会行事として歴史講演会を計画。一二〇名超参加。第22回総会を実施。

その他役員会・打合せ随時

H 26 年度決算報告

*収入総額 780,345円

*支出総額 714,648円

*差引残額 65,697円

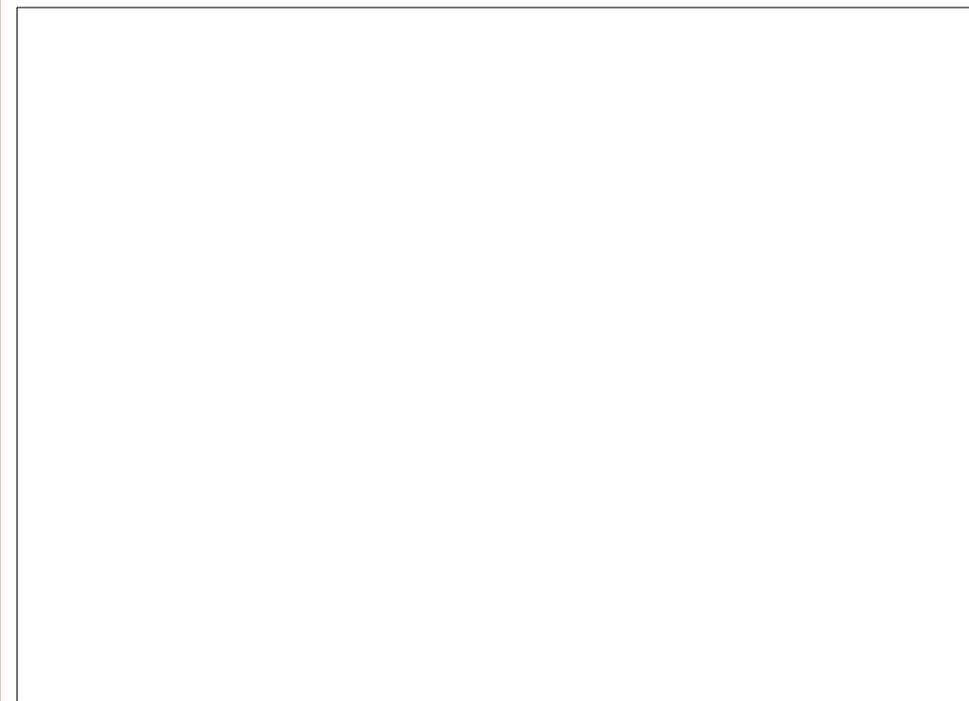
差引残額は次年度に繰り越します。(会計決算書は次頁をご参照下さい。)

H27年度の事業計画

- *来春 役員会・理事会開催
- 第22回総会の状況及び会計報告。活動内容検討。
- *会誌「山名7号」発行
- *来秋 第23回総会

現在のところ右のような概要

しか決まっておられません。今後役員会及び理事会等を通して計画を具体化してまいります。各行事へのご参加どうかよろしくお願い致します。



第22回総会・歴史講演会の会計状況は現在のところ上記の如くです。不足分に関してはH27年度中に通常会計より補填をさせていただきたいと考えています。このような事業を行った場合、い

くらかの黒字を出し、通常会計へ雑収入として繰り入れるのが通例と思うのですが…次回は若干でも黒字で終わるように励みます。

新会員の紹介

昨年度3名の方が山名会に入会いただきました。今後ともよろしくお願い致します。

お名前	地域	縁故
寺田 憲生様	御所市	三王相談役
米田泰治郎様	御所市	ご紹介
岩岡 良典様	芦屋市	宮田副会長ご紹介

会員数も54名となりました。府県別の内訳は、左表の如くです。

お知らせ等に入会有望な方

府県	会員数	府県	会員数	府県	会員数	
東京都	6	愛知県	1	島根県	1	
神奈川	2	大阪府	5	岡山県	1	
千葉県	1	京都府	2	広島県	2	
茨城県	1	和歌山	4	石川県	1	
栃木県	1	兵庫県	16	福島県	1	
埼玉県	1	奈良県	3			
群馬県	1	鳥取県	4			
会員数=49、会員家族等=5					合計	54

が御座いましたら、事務局までご一報下さい。此方からも働きかけたいと思います。

年会費納入のお願い

会計年度も改まりましたので、年会費の納入をお願い申し上げます。

年会費は五千円です。該当会員様には郵便振替伝票を同封しております。ご利用の上、ご入金お願い致します。(特別会員・家族会員等除く)

ご協賛・ご寄付の報告

ご協力誠に有り難う御座います。

平成二十八年 丙申

新たな年が旧年に

まさる良い年と

なりますように



画・廣實（法雲寺副住職）

少し気が早いですが、良いお年を...

編集後記

200名収容のホールが果たして埋まるかどうか？不安で不安で居りました。

10月中旬までは参加申込みの反応が思うようでは無く、「50人集まれば良いところ？」と思っておりましたが、新聞記事掲載後の11月からは調子が出てきて、開催前で100名超。行事終了後、配布用資料の残数から見ても120名超の方が受付を通られたことになりました。

この人数は自然に集まった数字ではありません。前述の如く山名会会員・役員様方が大きなところでは各新聞社への山名会行事の紹介記事掲載依頼や、各人の交友関係等個々の繋がりを頼っての参加願いなど、各人各様の方法で行事を広報し、参加をお願いして始めて獲得出来た人数かと思っております。

それでも普通、幾ら懇意にしている人からの頼み事でも、講演内容が面白そうでも無い限りは、週末の貴重な時間をワザワザ時間を割いてご参会いただくことは困難なことです。

会員外でご参加頂いた方の多くは「山名氏」と言う言葉に多少なりとも興味を持たれたからこそ、会場まで足を運んでくれたわけですね。

考えようによっては、「山名氏」は人を引きつけるだけの十分な魅力があると思うのですが自惚れでしょうか？
(事務局)